

事例名：電子ラベルESLによるピッキング

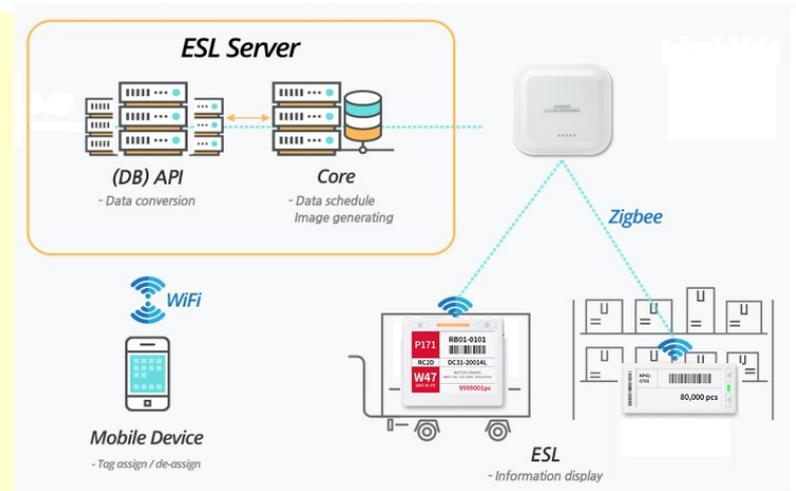
ユーザ名：修理センター

システム概要

保守部品は、種類が多いので管理が煩雑である。また、統一的な所在管理ができずに収納ボックスに様々なラベルが貼られていた。また、小物棚も同様に様々なラベルが貼られており、商品探しに苦労していた。

そこで、商品ラベルを電子ラベルESLに置き換えることにより、手書きやプリンタによるラベル発行の手間を削減した。

また、パソコンで商品検索し商品を選択すると、電子ラベルのLEDが点滅するようにしたので、商品探しの時間が大幅に削減した。しかも、必要な部品すべてのLEDを同時に点滅させたので、一度にピッキングできるようになった。



事例に関するURL

https://www.ainix.co.jp/products/biometrics_service/digital_signage/Newton_ESL/

お問い合わせ先

アイニックス株式会社

東京都目黒区大橋1-6-2

<https://www.ainix.co.jp/>

代 表 03(5728)7500
大阪営業所 06(6838)3071

営業部直通 03(5728)7576
名古屋営業所 052(588)6311

導入の背景・課題

保守部品は、統一的な所在管理ができずに収納ボックスに様々なラベルが貼られていた。
また、小物棚も同様に統一的な管理がされずに様々なラベルが貼られていたので、商品探しに苦労していた。
ラベル発行システムやバーコードによる所在管理システムの導入を検討したが、手間とコストが見合わなかった。

システム構成



課題の解決・導入効果

- パソコンに保守部品を登録するだけで電子ラベルに商品名が表示され、変更すればリアルタイムに更新されるので、現場での材料管理が正確になった。
- 必要な部品のLEDを同時に点滅させることにより、ピッキングが早く正確になった。
- ラベル印刷、貼り付け、手書き、書き換えによる作業ミスがなくなり、ペーパーレス化が実現した。